

## 基本目標

# 快適な生活を支え、住み続けたいまち

## 政策 14 計画的土地利用の推進



施策 14-1 計画的土地利用の推進

## 政策 15 都市基盤の整備



施策 15-1 幹線道路と交通網の整備

施策 15-2 上下水道の維持・整備

## 政策 1 4 計画的土地利用の推進

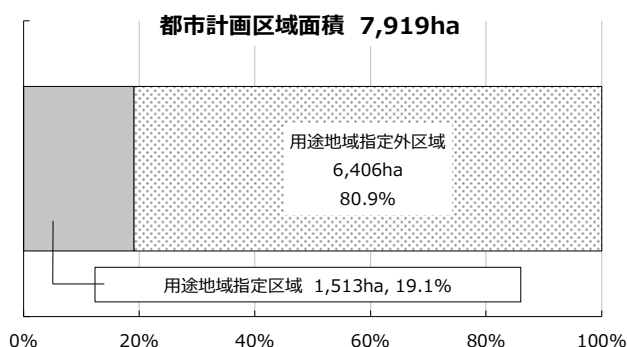
### 施策 1 4 - 1 計画的土地利用の推進

#### 【現状と課題】

- 人口減少などにより、市街地の部分的な空洞化などが発生することが予想されるため、岡谷市立地適正化計画などに基づき、人口密度や都市機能などが確保されたコンパクトなまちを形成する必要があります。
- 岡谷駅周辺地域は、まちの玄関口としての機能を持つ重要なエリアであるものの、具体的な活用計画がない状況です。そのため、市民や関係者などとの協議を重ねながら、新たな時代に相応しい都市機能を持つ活用整備方針の検討を深めていく必要があります。
- 諏訪湖サイクリングロード整備やジョギングロード整備にともない、諏訪湖周のさらなる魅力向上が見込まれるため、諏訪湖畔の賑わい創出に向けて取り組む必要があります。
- 公園は市民の憩いの場ですが、施設の老朽化が進んでおり、施設の更新や補修が必要となっています。また、多様化する住民ニーズなどを踏まえ、公園の機能や役割を再検討し、計画的な再整備や維持補修に取り組む必要があります。

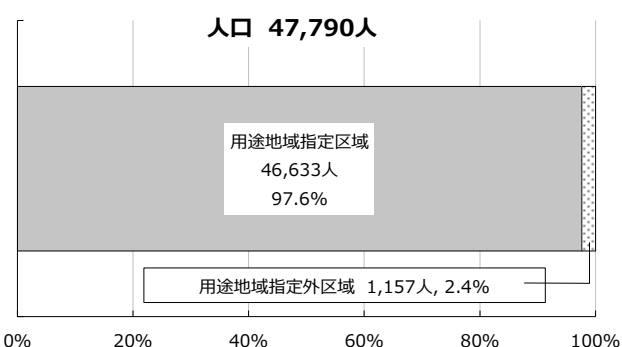
#### 【資料・データ】

##### ● 用途地域面積



【出典】令和3年度岡谷市都市計画基礎調査

##### ● 用途地域面積別人口



【出典】令和3年度岡谷市都市計画基礎調査

#### 【施策展開の方針】

- 持続可能なまちづくりに向けたコンパクトな市街地の形成
- 岡谷駅周辺地域の都市機能の充実
- 諏訪湖の水辺空間を活かした賑わいの創出
- 公園などの適正な維持管理とまちの賑わい創出や健康増進に向けた整備の推進

## 【主な取組】

### ●コンパクトなまちづくり

人口減少が進行する中、将来にわたる持続可能なまちづくりの実現に向けて、岡谷市立地適正化計画などに基づき、人口密度や都市機能などが確保されたコンパクトな市街地の形成をめざします。

### ●岡谷駅周辺整備

岡谷駅周辺整備については、官民連携による民間活力の導入など事業手法の選択を含め、長期的視点、幅広い視点から、慎重に検討を行い、早期の整備に努めます。

### ●諏訪湖畔の賑わい創出

諏訪湖サイクリングロードやジョギングロードを気軽に快適に利用できるよう休憩機能の充実に取り組むほか、水辺の利活用を促進し、自然と共生した魅力ある水辺空間の創出に努めます。

### ●公園などの維持修繕と機能向上

計画的な維持修繕・更新により、安全・安心を確保するとともに、機能のリノベーションによるまちの魅力や賑わいの創出のほか、諏訪湖サイクリングロード・ジョギングロードなどを利用した健康増進を推進します。さらに、市民の協力などを得ながら適正な公園などの整備、管理を図ります。

## 【成果指標(KPI)】

●指標名：計画的土地利用に関する市民の満足度と不満足度

●指標内容：岡谷市民アンケート調査による、計画的土地利用に関する市民の満足度と不満足度

指標名	後期計画	
	現状(直近実績) 令和4(2022)年度	終了時目標 令和10(2028)年度
計画的土地利用に関する市民の満足度	11.1%	13.8%
計画的土地利用に関する市民の不満足度	18.4%	18.0%

## 【施策展開のための個別計画】

計画名	計画期間
岡谷市都市計画マスタープラン	平成27(2015)年度～令和16(2034)年度
岡谷市立地適正化計画	令和2(2020)年度～
岡谷市緑の基本計画	平成13(2001)年度～
第2期岡谷市公園施設長寿命化計画	令和4(2022)年度～令和13(2031)年度

## 政策 1 5 都市基盤の整備

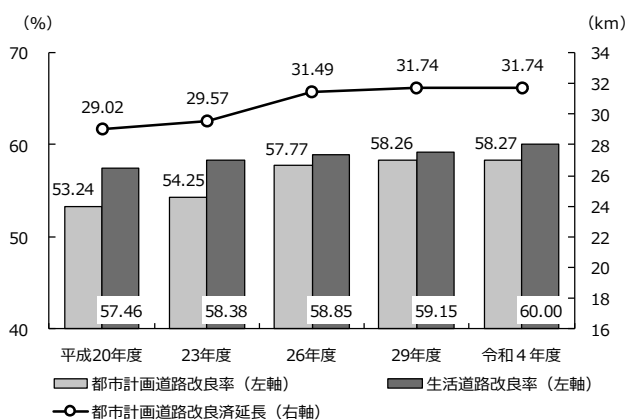
### 施策 1 5 - 1 幹線道路と交通網の整備

#### 【現状と課題】

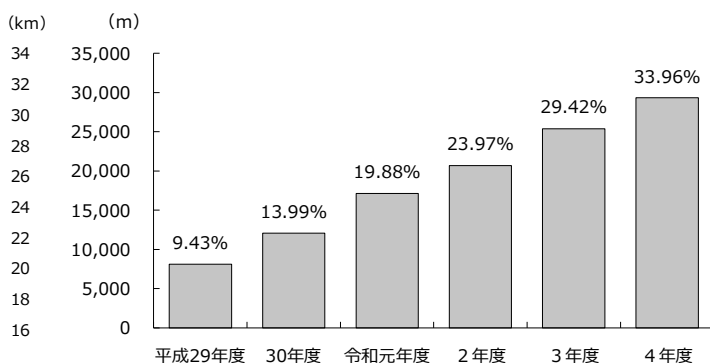
- 地域生活の利便性向上、地域経済の活性化、防災面の向上を図るため、都市の骨格を形成する幹線道路などの整備を促進する必要があります。
- 都市計画道路の改良率は、58.27%となっており、長期にわたり未着手の路線や区間があることから、都市計画道路全体について必要性を検証する必要があります。
- 生活道路改良率は60.00%となっており、都市機能を支える重要な社会基盤であることから、多様化する住民ニーズに対応するため、改良や計画的な維持修繕の必要があります。
- 現在、管理する橋梁は197橋あり、高齢化を迎える橋梁を適正に維持管理することで、交通網の安全を確保するとともに、維持管理費のコスト縮減を図る必要があります。
- 公共交通網は、ネットワーク化されているものの、特に交通弱者対策の視点から、さらなる利便性向上と持続可能な公共交通の実現が求められるため、岡谷市地域公共交通計画に基づき、諸施策に取り組む必要があります。

#### 【資料・データ】

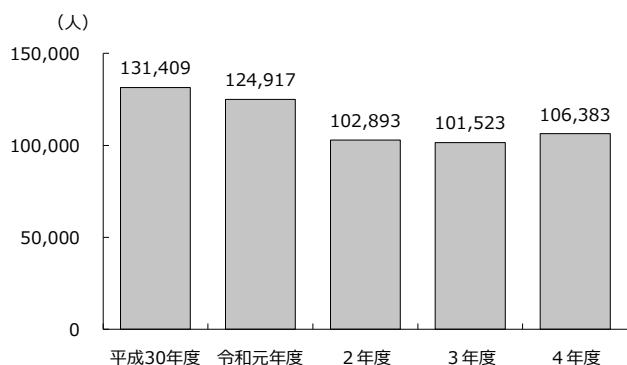
##### ● 都市計画道路・生活道路改良状況



##### ● 舗装修繕率の推移



##### ● シルキーバス利用者数の推移



## 【施策展開の方針】

- 地域や拠点を結び、市民生活や交流を支える交通体系の形成、安全で快適な移動空間の確保
- 道路施設の適正な維持管理
- J R 中央本線の高速化、複線化による利便性向上
- 持続可能な地域公共交通体系の構築

## 【主な取組】

### ● 幹線道路などの整備促進

国・県との連携により、幹線道路の整備を促進するとともに、災害の防止、安全で円滑な交通を確保するため無電柱化を推進します。また、長期未着手の都市計画道路については、機能や規格、必要性などを再検証しながら、将来を見据えた都市構造を検討します。

### ● 諏訪湖スマートインターチェンジ整備効果の発揮

整備効果が十分発揮できるよう、供用開始後の交通量や交通体系などを把握しながら、必要な交通網などの整備に努めます。

### ● 道路施設の老朽化に対応する維持管理

日常的な点検や市民からの情報提供により、安全・安心に通行できる道路施設の充実に努めるため、計画的かつ予防的な修繕を行い、適正な維持管理と長寿命化に取り組みます。

### ● 公共交通網の利用促進

公共交通網の起点となる岡谷駅周辺や岡谷市民病院のバスターミナルの利便性を高めるとともに、多くの方に親しまれ、利用しやすい公共交通機関となるよう民間路線バスを含め利用促進に努めます。

## 【成果指標(K P I)】

### ● 指 標 名：①都市計画道路の改良率

②舗装修繕率

③シルキーバスの利用者数

### ● 指標内容：①都市計画道路の改良状況(改良済延長÷計画延長×100)

②主要幹線道路の舗装修繕状況(主要幹線舗装修繕延長÷主要幹線延長×100)

③シルキーバスの年間利用者数

指標名	後期計画	
	現状(直近実績) 令和 4 (2022)年度	終了時目標 令和 10(2028)年度
①都市計画道路の改良率	58.27%	60.00%
②舗装修繕率	33.96%	57.00%
③シルキーバスの利用者数	106,383 人	117,000 人

**【施策展開のための個別計画】**

計画名	計画期間
岡谷市都市計画マスタープラン	平成 27(2015)年度～令和 16(2034)年度
第 2 期岡谷市橋梁長寿命化修繕計画	令和 2 (2020)年度～令和 11(2029)年度
岡谷市地域公共交通計画	令和 6 (2024)年度～令和 10(2028)年度



## 政策 1 5 都市基盤の整備

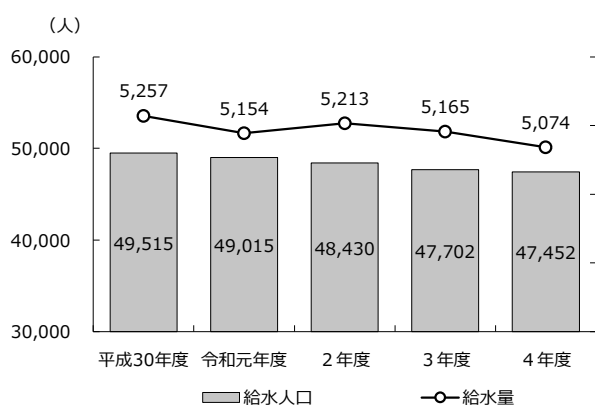
### 施策 1 5 - 2 上下水道の維持・整備

#### 【現状と課題】

- 上下水道事業は、給水量や汚水量の減少による収益の減少が見込まれる厳しい経営環境にあるため、個別計画により安定した事業経営をする必要があります。
- 上下水道施設の老朽化が進むため、計画的に施設を更新するとともに、災害に強いまちづくりをめざして施設の耐震化を進める必要があります。
- 水需要が減少しているため、水源や配水池などの統廃合により水道施設を再構築する必要があります。
- 近年多発する集中豪雨による浸水被害を軽減するため、<sup>うすいきよ</sup>雨水渠整備を計画的に進める必要があります。

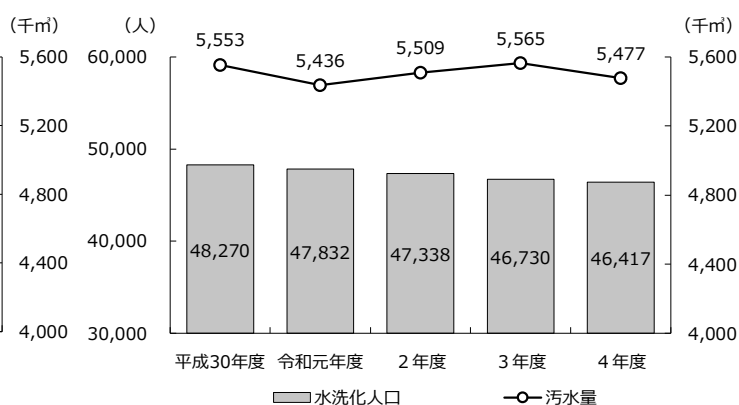
#### 【資料・データ】

##### ● 給水人口と給水量の推移



【出典】岡谷市建設水道部水道課調

##### ● 水洗化人口と汚水量の推移



【出典】岡谷市建設水道部水道課調

#### 【施策展開の方針】

- 将来にわたる安定した健全経営の維持
- 自然と調和し、安心な暮らしを支え、信頼される水道事業の継続
- 衛生的で快適な環境を守り、市民の安全な暮らしを支える下水道事業の継続



## 【主な取組】

- 将来にわたる健全経営の維持

人口減少にともなう収益の減少が見込まれることから、経営基盤の強化や業務の効率化を図り、健全な事業経営に取り組みます。

- 安全で安心な水道水の安定供給に向けた水道の整備

質の高い給水サービスを提供するため、水道施設の再構築を図るとともに、施設の更新や耐震化を計画的に実施します。

- 衛生的で快適な環境を守る下水道の維持・整備

下水道施設の適正な維持管理と長寿命化を図るとともに、災害などに備え、施設の耐震化や雨水渠事業を計画的に実施します。

## 【成果指標(KPI)】

- 指 標 名：①水道管路の耐震化率(耐震化済管路延長÷全管路延長×100)

②下水道管路の耐震化率(耐震化済管路延長÷全管路延長×100)

- 指標内容：①すべての水道管路のうち、最大規模の地震動に耐えられる構造の管路の割合

②すべての下水道管路のうち、耐震化対策を講じた管路の割合

指標名	後期計画	
	現状(直近実績) 令和 4 (2022)年度	終了時目標 令和 10(2028)年度
①水道管路の耐震化率	19.8%	24.0%
②下水道管路の耐震化率	60.4%	64.6%

## 【施策展開のための個別計画】

計画名	計画期間
水道事業基本計画	平成 27(2015)年度～令和 16(2034)年度
水道事業経営戦略	平成 30(2018)年度～令和 9(2027)年度
下水道事業経営戦略	平成 30(2018)年度～令和 9(2027)年度
下水道総合地震対策計画	平成 25(2013)年度～令和 9(2027)年度
下水道ストックマネジメント計画	随時更新

